

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2017年3月15日
一般財団法人 日本気象協会

2017年桜開花予想(第4回)

～まもなく桜の季節到来！ 3連休明けには福岡でサクラサク～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2017年3月15日（水）に日本全国89地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想（第4回）を発表します。

また、昨年に引き続き、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんたいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。さらに、今年には北海道の「新ひだか町」を新たに予想地点として加えています。

開花予想は日本気象協会のコーポレートサイト (<http://www.jwa.or.jp/>) や天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじえーびー）』 (<https://tenki.jp/sakura/expectation/>) にて無料で公開します。

(1) 概況

2017年の桜（ソメイヨシノ）の開花は、九州から東海、北陸地方では平年並みかまたは遅く、関東甲信地方から北海道までほぼ平年並みの予想です。

今週末の3連休が明け、22日に福岡市で桜前線がスタートし、23日には宇和島市、東京（千代田区）、横浜市で開花する見込みです。九州から関東地方の多くの地域で3月末までに続々と開花の便りが届くでしょう。これらの地域では、開花から7日～10日程度で満開となります。満開の桜の中で入学式や入社式が行われるところが多くなりそうです。



2017年 桜開花予想前線図

●日本気象協会 長期予報

気温	3月	4月	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並	平年並	平年並か高い	北日本では、前回より予想気温が低くなり、平年並みの予想へ変わりました。東日本と西日本では平年並みから低い予想へ変わり、東日本と西日本の多くのところで、予想開花日が前回より1～2日程度遅くなりました。
東日本	低い	平年並	平年並か高い	
西日本	低い	平年並	高い	

(2) 季節のあゆみ、一進一退

3月上旬は、全国的に寒さが戻り、積雪を観測した地域もありました。中旬になると、全国的に春本番を思わせる暖かい日があったものの、寒気の流れ込みにより平年よりも気温が低く、不安定な天気となりました。そのため、桜のつぼみの生長は足踏み状態になったと見込まれます。

3月下旬も気温の低い日が続く見込みですが、4月上旬にかけては平年並みとなるため、桜のつぼみは少しずつ生長する予想です。4月上旬までに、九州から関東までの多くの地域で開花の便りが届き、各地からお花見でにぎわう声が聞こえてくるでしょう。

(3) 桜開花予想のたより (リレートーク)

桜開花予想のたより リレートーク



靖国神社にある標本木の様子です。撮影日はあいにくの曇り空でしたが、つぼみの先端が少し緑色になっていました。着実に開花へ向けて準備が進んでいます。(3月13日撮影)



日本気象協会
本社
気象予報士 渡邊 彩



福岡管区気象台にある桜の標本木です。先週はみぞれが降るような強い寒の戻りもあった福岡ですが、桜のつぼみは着々と生長し、黄緑色のものが多くなってきました。(3月13日撮影)



日本気象協会
九州支社
気象予報士 松井 渉





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノほか）の2017年予想開花日・予想満開日（3月15日発表）

※平年（昨年）差の「-」は平年（昨年）よりも早く、「+」は平年（昨年）よりも遅いことを表します。
 ※平年値や昨年度は、気象庁・各自治体や名所の値を用い、平年値のない地点は過去の観測データをもとに算出しました。
 ※満開を観測していない地点と過去の観測の記録がない地点は、予想満開日は発表しません。
 ※長野県伊那市（高遠城址公園）はタカトオコヒガンザクラ、北海道稚内市、留萌市、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、浦河町、新ひだか町はエゾヤマザクラ、根室市はチシマザクラ、そのほかの各地はソメイヨシノを対象としています。

九州地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
福岡県	福岡市	3月22日	-1	+3	4月2日	+1	+3
大分県	大分市	3月26日	+2	-2	4月7日	+4	-1
長崎県	長崎市	3月26日	+2	+4	4月7日	+4	+8
佐賀県	佐賀市	3月26日	+2	+3	4月6日	+3	+6
熊本県	熊本市	3月25日	+2	+3	4月4日	+3	+2
宮崎県	宮崎市	3月29日	+5	+5	4月8日	+6	+3
宮崎県	都城市（母智丘公園）	3月30日	+6	+5	4月7日	+7	+4
鹿児島県	鹿児島市	4月1日	+6	+5	4月10日	+6	+4
気象予報士 コメント	日本気象協会 九州支社 九州は桜の季節が次第に近づいてきました。今週末には暖かくなりますので、桜のつぼみが膨らむペースも増し、来週にはいよいよ福岡市などから桜の便りが届くようになりそうです。						

四国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
香川県	高松市	3月28日	0	+2	4月7日	+2	+3
徳島県	徳島市	3月29日	+1	-1	4月8日	+3	0
愛媛県	松山市	3月25日	0	+2	4月7日	+3	+4
愛媛県	宇和島市	3月23日	+1	+3	4月4日	+3	+5
高知県	高知市	3月25日	+3	+1	4月3日	+4	+1
高知県	宿毛市	3月25日	+2	+6	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 四国支店 春本番の暖かさとなる日も多くなってきましたが、まだ寒さのぶり返す日もありそうです。多くの人が春の訪れを実感する桜の開花は、前回予想と同様、平年並みか平年よりやや遅くなりそうです。						

中国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
広島県	広島市	3月28日	+1	+5	4月5日	+1	+3
岡山県	岡山市	3月30日	+1	+4	4月7日	+1	+6
島根県	松江市	4月1日	+1	+9	4月9日	+1	+10
鳥取県	鳥取市	4月1日	+1	+9	4月9日	+2	+9
山口県	下関市	3月29日	+2	+1	4月6日	+1	+3
山口県	岩国市 （錦帯橋・吉香公園）	3月28日	+1	+4	4月5日	0	+3
気象予報士 コメント	日本気象協会 中国支店 3月前半の中国地方は、8日に鳥取市内で積雪を観測するなど時々厳しい寒さが戻り、冬と春の間を行き来しています。この先は暖かい日もありますが、かたいつぼみが開くにはもう少し時間が必要で、開花は昨年より遅くなる所が多いでしょう。						



近畿地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
大阪府	大阪市	3月29日	+1	+6	4月6日	+1	+5
滋賀県	彦根市	4月4日	+2	+5	4月9日	0	+4
京都府	京都市	3月30日	+2	+7	4月6日	+1	+4
兵庫県	神戸市	3月29日	+1	+3	4月7日	+2	+4
兵庫県	姫路市(姫路城)	3月31日	+2	+7	4月9日	+2	+6
奈良県	奈良市	3月30日	+1	+7	4月7日	+2	+5
和歌山県	和歌山市	3月27日	+1	+5	4月7日	+3	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 関西支社 近畿地方では、この先一時的に寒さが戻るため、つばみの膨らみは少し足踏みしそうです。平年より1日から2日ほど遅れての開花になるでしょう。						

東海地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
愛知県	名古屋	3月27日	+1	+8	4月6日	+3	+6
静岡県	静岡市	3月28日	+3	+1	4月5日	+2	0
静岡県	浜松市(浜松城公園)	3月29日	+2	+1	4月8日	+4	+5
岐阜県	岐阜市	3月29日	+3	+9	4月5日	+1	+5
岐阜県	高山市	4月16日	+1	+10	4月21日	+1	+8
三重県	津市	3月31日	+1	+3	4月6日	+1	+4
気象予報士 コメント	日本気象協会 中部支社 名古屋は、先週雪がちらつきました。東海地方は冬の冷たい空気と春の暖かな陽気がせめぎあっています。つばみの生長は昨年より遅いですが、黄緑色が目立ってきました。今月下旬になると開花の便りが届き始めそうです。						

関東地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
東京都	千代田区	3月23日	-3	+2	4月2日	-1	+2
東京都	八王子市	3月27日	-1	+5	---	---	---
茨城県	水戸市	4月1日	-1	+4	4月10日	+2	+4
栃木県	宇都宮市	3月31日	-1	+3	4月9日	+1	+5
群馬県	前橋市	3月30日	-1	+7	4月8日	+2	+7
埼玉県	熊谷市	3月27日	-2	+4	4月5日	0	+4
埼玉県	さいたま市(大宮公園)	3月25日	-1	+3	---	---	---
千葉県	銚子市	3月31日	0	-1	4月7日	-1	+1
神奈川県	横浜市	3月23日	-3	0	4月2日	-1	0
神奈川県	小田原市 (小田原城址公園)	3月28日	+2	+5	4月6日	+3	+2
東京都	八丈島(八丈植物園)	4月6日	+6	+3	4月12日	+3	+4
気象予報士 コメント	日本気象協会 本社 先週末は春を感じられる暖かい陽気となりましたが、週明けには冷たい雨が降りました。まだ少し冬が残っていますが、次第に春へ向かっています。3月下旬から4月上旬に各地で開花する見込みです。						

甲信地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
山梨県	甲府市	3月28日	+1	+5	4月4日	+1	+1
長野県	長野市	4月13日	0	+10	4月18日	+1	+10
長野県	大町市 (大町山岳博物館)	4月20日	+1	+10	4月26日	+4	+10
長野県	飯山市(飯山城址公園)	4月17日	0	+7	---	---	---
長野県	松本市(松本城)	4月10日	0	+9	4月15日	0	+9
長野県	上田市(上田城跡公園)	4月9日	0	+8	4月14日	+1	+8



長野県	小諸市 (懐古園)	4月17日	+2	+9	4月23日	+2	+11
長野県	諏訪市 (高島公園)	4月14日	+2	+10	---	---	---
長野県	伊那市 (高遠城址公園)	4月11日	-1	+8	4月17日	0	+9
長野県	飯田市 (大宮通り)	4月5日	+1	+7	4月11日	+2	+9
長野県	飯田市 (天竜峡)	4月2日	+2	+7	---	---	---
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 長野支店</p> <p>先週末から今週はじめにかけて、春を思わせる陽気となりました。今週末からの3連休も穏やかな天気になる予想ですが、3月下旬には寒の戻りがある見込みです。長野の桜は、前回予想よりやや遅くなるものの、平年並みに開花する予想です。</p>						

北陸地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
新潟県	新潟市	4月9日	0	+6	4月14日	0	+7
新潟県	上越市 (高田公園)	4月8日	0	+7	4月13日	0	+7
富山県	富山市	4月6日	+1	+8	4月11日	+1	+10
富山県	高岡市 (高岡古城公園)	4月7日	+1	+7	4月12日	+2	+9
石川県	金沢市	4月4日	0	+5	4月10日	0	+6
石川県	輪島市	4月9日	0	+6	---	---	---
福井県	福井市	4月4日	+1	+8	4月10日	+1	+10
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 新潟支店</p> <p>先週末の暖かい陽気に誘われて、新潟ではツバキの開花やうぐいすやひばりの初鳴きが観測されました。3月中旬以降もまだ寒の戻りがありますが、時折出る暖かい日差しに後押しされ、4月に向けてかたいつぼみを少しずつ膨らませることでしょう。</p> <p>日本気象協会 北陸支店</p> <p>先週は雪が積もった北陸ですが、その後、暖かくなり、寒暖の差が大きくなっています。まだ、この先、寒くなる日もあり、開花日は前回予想より少し遅くなりました。寒い日は今が旬のホタルイカをおつまみに暖かくするしかなさそうですね。</p>						

東北地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
宮城県	仙台市	4月9日	-2	+8	4月15日	-1	+9
青森県	青森市	4月25日	+1	+8	4月30日	+1	+9
青森県	弘前市 (弘前公園)	4月23日	0	+5	4月29日	+1	+6
青森県	八戸市	4月24日	+1	+8	---	---	---
秋田県	秋田市	4月18日	0	+4	4月22日	0	+3
秋田県	仙北市 (角館・松木内川堤)	4月24日	0	+4	4月29日	+1	+6
岩手県	盛岡市	4月19日	-2	+8	4月26日	+1	+8
岩手県	北上市 (北上展勝地)	4月20日	0	+8	4月26日	0	+6
岩手県	大船渡市	4月13日	-1	+11	---	---	---
山形県	山形市	4月14日	-1	+8	4月19日	0	+9
山形県	酒田市 (日和山公園)	4月13日	-1	+7	4月18日	0	+4
福島県	福島市	4月9日	0	+10	4月13日	0	+10
福島県	いわき市 (小名浜)	4月6日	0	+6	4月12日	0	+3
気象予報士 コメント	<p>日本気象協会 東北支局</p> <p>この1週間は冬型の気圧配置となる日が多く、寒気の影響で気温は平年を少し下回る日がありました。向こう1カ月の気温は平年並みの予想です。このため、桜の開花は平年並みの見込みです。</p>						



北海道地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
北海道	札幌市	5月4日	+1	+9	5月8日	+1	+7
北海道	稚内市	5月15日	+1	+2	5月18日	+1	+3
北海道	留萌市	5月10日	+1	+5	5月13日	0	+4
北海道	旭川市	5月6日	+1	+3	5月8日	+1	+4
北海道	倶知安町	5月10日	+1	+4	5月14日	+1	+6
北海道	網走市	5月12日	+1	+4	5月15日	+1	+5
北海道	帯広市	5月6日	+2	+6	5月9日	+2	+6
北海道	釧路市	5月16日	-1	+6	5月20日	0	+7
北海道	根室市	5月19日	+1	+6	5月25日	+1	+7
北海道	室蘭市	5月7日	+1	+12	5月11日	0	+9
北海道	浦河町	5月10日	0	+7	5月14日	+1	+8
北海道	函館市	5月1日	+1	+7	5月6日	+2	+10
北海道	松前町(松前公園)	4月27日	-1	+5	---	---	---
北海道	新ひだか町 (二十間道路)	5月7日	+2	+9	5月9日	0	+8
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 北海道支社</u> 日中は雪解けが進み、解けた水の流れてに日差しがキラキラ輝いています。街路樹はまだ冬の装いですが、根元の地面が出てきた場所では草の小さな芽が出てきています。久しぶりに見る緑色に小さな春を感じられる季節です。						

【言葉の説明】

- 平年：1981～2010年の平均値
- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

●日本三大桜 開花予想

	都道府県	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
三春滝桜	福島県	三春町	4月16日	---	+12	4月20日	---	+10
山高神代桜	山梨県	北杜市	4月1日	---	+3	4月7日	---	+6
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	4月6日	---	+9	4月11日	---	+8

※日本三大桜は平年値なし

【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花予想作成にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供します。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。



2017年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月8日(水)、第2回は3月1日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点を対象としています。また、昨年から日本三大桜の3地点を加えています。

Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2016年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想が2.5日、満開予想が2.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値（当協会ポイント予報および長期予報）を使用しています。桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽（はなめ）は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます（休眠打破）。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)、ならびに

tenki.jp(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)、でご利用いただけます。tenki.jpでは、開花(満開)の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上